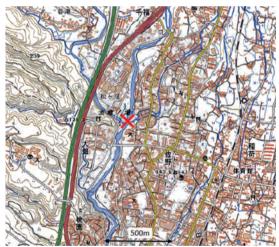
## SURE 静岡大学学術リポジトリ Shizuoka University REpository

E031 三島溶岩流の露頭・五竜の滝(静岡県GEO DATA(25)特集: 地学散歩(104))

メタデータ	言語: ja
	出版者: 静岡県地学会
	公開日: 2023-01-25
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 增島, 淳
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029284

## E031 三島溶岩流の露頭・五竜の滝





カシミール3D地図

約10,000 年前に富士火山から噴出し、南東方向に流下した溶岩流は、愛鷹山と箱根山が接する谷底を、両火山の山裾を埋め立てながら流れた、現在の三島市域まで地表に露出しているので、「三島溶岩流」と呼ばれている。

溶岩流の進行を妨げた山裾部には、ローム層が厚く堆積していたが、河川に浸食され、現在は堰き止められていた硬い溶岩流の断面が露出している。溶岩流上を流れる黄瀬川や大場川などは、この部分で「滝」となっている。

長泉町の「鮎壺の滝」や,三島市の「鮎止めの 滝」などもこれにあたる.

裾野市の「五竜の滝」も成因は同じである. 名

前は5筋の滝が懸かることに由来する. 西側の3筋は黄瀬川に、東側の2筋は深良用水分流の大柄沢川に懸かる. 滝壺近くの公園から観察できるのは黄瀬川に懸かる3筋だけで、公園内の吊り橋を渡ると残りの2筋も観察できる. 幅100 m, 高さ12 m の露頭に何層もの溶岩が重なり、その隙間からは湧水が認められる. 公園には、駐車場やトイレも完備されている. (増島 淳)